

平成30年3月3日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(96回)報告
30.3.1 デイサービスセンター止揚の杜 深谷市岡

熊連協芸能祭が終わり2週間振りの公演です。午前中「くまびあ」で練習をし、も一度舞いの確認をした後、食事をして施設に向かいました。この施設での公演は約1年振りです。施設に着くと会場には約40人の施設利用者の方が椅子や車椅子に乗って待っていてくれました。着替え室に案内され、2時の開演を待ちました。

職員の方の案内で拍手の中を入場しました。内田施設長さんから「今日は雛まつりの一貫として南京玉すだれクラブの皆さんに来ていただきました。」という挨拶をいただき演技が始まりました。

まずは舩田さんからの「南京玉すだれ」の口上です。響きのある声で口上が述べられ、次から次へと変化する「玉すだれ」形に拍手喝采でした。次に「玉すだれ」の動きについてお話をし、大きく延びる「すだれ」に皆さん驚いていました。自己紹介をした後「きよしのズンドコ節」を演じました。最後のキラキラモールで終わる場面では「きれい、きれいだね。」というお誉めの言葉もいただきました。

各人得意技をやり、「玉すだれ」の触れ合いコーナーでは手に持った「すだれ」を「結構重いですね。」という感想をいただき、大きく開いた「阿弥陀如来」の形を手に持って得意顔で職員の方のカメラに収まっていました。104歳の元気なおばあちゃんにも持ってもらいました。「サザエさん体操」では積極的に職員の方も参加してもらい、2回目の体操時には利用者の方が3、4人前に出て皆で演じ大いに盛り上がりました。最後は「東京音頭」で、調子のよい賑やかな曲に合わせ沢山の手拍子をいただきました。あっという間の60分の公演が終わり、再会を約束して帰ってきました。



